

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達障害Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 木曜1, 2限	教室名	4校舎301教室
担 当 教 員	松浦雄史	実務経験と その関連資格	言語聴覚士として肢体不自由児通園施設、重症心身障害者施設で脳性麻痺児(者)のリハビリを実施。			
《授業科目における学習内容》						
脳性麻痺という障害の概要を学び、脳性麻痺に伴う摂食嚥下障害およびコミュニケーション障害の評価やリハビリテーションを具体的な症例を通して理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
言語聴覚療法シリーズ12 改訂言語発達障害Ⅲ 笹井新一朗編著						
《授業外における学習方法》						
毎回の授業に小テストを実施するので、授業内容を復習すること。						
《履修に当たっての留意点》						
脳性麻痺という障害はイメージしにくい。脳性麻痺はどのような障害か。また摂食嚥下やコミュニケーションにどのような障害が伴ってくるのか。実際の症例を多数提示し、受講生自身が具体的に考えながら学ぶ授業としていく。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳児期の運動発達と並行して、脳性麻痺の定義と原因を理解し、説明できるようになる。	PC、スピーカー	事前配布資料に目を通しておくこと	
		各コマにおける授業予定	乳児期の運動発達について学び、正常運動発達の順序性や原始反射について理解する。さらに脳性麻痺の定義と原因、リスクファクターについて学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺の診断とタイプ別の特徴、運動の特徴と合併症を理解し、説明できるようになる。	PC、スピーカー	事前配布資料に目を通しておくこと	
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺の診断基準、タイプ別の特徴、運動の特徴と合併症について学ぶ。タイプ別の特徴は、動画を見ながら学び、具体的な臨床像を理解するとともに、脳性麻痺児の運動を促通する手技を実技を通して学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺児の療育と障害受容、リハビリテーションを理解し、説明できるようになる。	PC、スピーカー	事前配布資料に目を通しておくこと	
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺児の療育と、それぞれのライフステージにおける支援について学ぶ。さらにリハビリテーションについて学び、口腔領域の運動を促通する手技を、実技を通して学ぶ。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺児の摂食嚥下の特徴、評価と支援を理解し、説明できるようになる。	PC、スピーカー	事前配布資料に目を通しておくこと	
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺児の摂食嚥下の特徴について、タイプ別に動画で症例を見ながら学び、具体的な支援を検討する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺児の言語発達、コミュニケーションの特徴と、AACを理解し、説明できるようになる。	PC、スピーカー	事前配布資料に目を通しておくこと	
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺児の言語発達について、正常な乳児の言語発達と平行して学び、その特徴を理解する。また、発声発語およびコミュニケーションの特徴を理解し、AACを用いたコミュニケーション支援について理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	アテトーゼ型脳性麻痺、および重度脳性麻痺児のコミュニケーション支援を理解し、説明できるようになる。	PC、スピーカー	事前配布資料に目を通しておくこと
		各コマにおける授業予定	アテトーゼ型脳性麻痺、重度脳性麻痺児の言語・コミュニケーションについて、症例を通して学び、支援について検討する。		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺児の言語・コミュニケーションの評価と活動参加について理解し、説明できるようになる。	PC、スピーカー	事前配布資料に目を通しておくこと
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺児の言語・コミュニケーションの評価について学び、リハビリのプログラムの立案ができるようになる。症例を通して、障害児のコミュニケーションと活動への支援について学び、課題を検討する。		
第8回	講義 形式	授業を通じての到達目標	脳性麻痺児のコミュニケーションを人との関係性を含めて、包括的に理解し、説明できるようになる。	PC、スピーカー	事前配布資料に目を通しておくこと
		各コマにおける授業予定	脳性麻痺児のコミュニケーションを人との関係性という観点から検討し、理解する。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			